

平成 29・30 年度 土木学会複合構造委員会 第 12 回幹事会議事録

日 時：平成 31 年 3 月 1 日（金）16:30～18:30

場 所：沖縄県 かねひで喜瀬ビーチパレス 会議室

出席者：西崎委員長，下村副委員長，溝江幹事長，大久保幹事，葛西幹事，川端幹事，北根幹事，
齊藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，平幹事，滝本幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，
広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，杉岡事務局

配付資料：

- 幹 12-0 平成 29・30 年度複合構造委員会第 12 回幹事会議事次第
- 幹 12-1 平成 29・30 年度複合構造委員会第 11 回幹事会議事録（案）
- 幹 12-2 平成 29・30 年度複合構造委員会第 4 回委員会議事録（案）
- 幹 12-3 平成 30 年度委員会予算執行状況
- 幹 12-4 第 13 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム
- 幹 12-5 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造
- 幹 12-6 継続教育関連
- 幹 12-7 書籍英訳化
- 幹 12-8 出版関連報告
- 幹 12-9 複合構造委員会小委員会一覧
- ~~幹 12-10 H101 複合構造標準示方書小委員会~~
- 幹 12-11 H107 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会
- 幹 12-12 H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会
- 幹 12-13 H152 プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会
- 幹 12-14 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会
- 幹 12-15 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- ~~幹 12-16 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会~~
- 幹 12-17 H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会
- 幹 12-18 H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- 幹 12-19 H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会

議事内容：

1. 委員長挨拶

開会に先立ち、西崎委員長より挨拶があった。

2. 複合構造委員会第 11 回幹事会議事録案確認（資料 幹 12-1）

橋本幹事より資料に基づき説明があり了承された

3. 複合構造委員会第 4 回委員会議事録案確認（資料 幹 12-2）

川端幹事より資料に基づき説明があり了承された。溝江幹事長より委員会メーリングリストで配布することとなった。

4. 平成 30 年度委員会予算執行状況（資料 幹 12-3）

溝江幹事長より資料に基づき説明があり、各小委員会の今後の予算の執行予定を確認した。

今年度の残金を本幹事会の参加幹事の旅費に充当し、残金を書籍の購入に充てることが了承された。

5. 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム報告（資料 幹12-4）

大久保幹事より資料に基づき説明があった。今回のシンポジウムは11月14日と15日に実施されること、公告は4月号の学会誌に掲載すること、会議に用いる講堂、会議室A、および会議室Bは予約済であることが報告された。

6. 土木学会論文集A1特集号：複合構造（資料 幹12-5）

橋本幹事より資料に基づき説明があった。今回の特集号は、論文2件、報告2件となり、最終原稿を3月下旬に受領予定であることが報告された。また、第4期となる次期編集委員は、現在の第3期の体制で候補者を選定し、西崎第4期新委員長が承認したうえで、次回幹事会にて報告することとなった。

7. 継続教育関連報告（資料 12-6 および 12-7）

溝江幹事長より資料に基づき説明があった。

(1) 書籍英文版について

書籍英文版（Basic Theory and Design of Hybrid Structures）は、執筆者間で最終的な確認が行われており、3月中の完成を目標としていることが報告された。幹事会より、引用番号や前書き等の記載、印刷もコピーアンドペーストも出来ないPDFの作成等を依頼することとなった。また、完成版は複合構造委員会の日本語版HP、英語版HPにおいて公開することし、溝江幹事長より委員へHP公開したことをメールすることとなった。

海外への発信として、FibやIABSEのメーリングリストへ紹介メールを配信するのはどうかという意見があった。また、Fibのホームページへの掲載は、土木学会や日本コンクリート工学会のHPアドレスがリンクされてのみであるため、難しいのではという意見があった。Fibについては下村副委員長から問い合わせること、IABSEについては教材の作成者である中村俊一顧問に問い合わせることとなった。

(2) IABSEとのジョイントセミナーについて

中村俊一顧問から検討依頼があったIABSEとのジョイントセミナーに関連し、2019年11月に開催予定のIABSE Young Engineering Colloquium（in 東工大）の概要が参考として紹介された。そのうえで、本件に関しては、国際連携小委員会のメンバーを増員するなどして検討していくのがよいのではという意見が出された。

8. 出版関連報告（資料 幹12-8）

平幹事より資料に基づき説明があった。全体的に大きく変わったものはなく、いくつか原価回収部数に達していないものがあるとの報告があった。回収率が低い、No.14複合構造物の耐荷メカニズム-多様性の創造-を、3/20時点の委員会予算の残金で購入し、示方書小委員会などの委員に謹呈することとなった。謹呈先は溝江幹事長が選定し、土木学会から郵送することとなった。

9. 小委員会報告審議

- ・H101 複合構造標準示方書小委員会（資料 幹12-9）

特になし

- ・H107 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会（資料 幹12-11）

溝江幹事長より資料に基づき説明があった。3/14に最終委員会が開催され、各WGの成果について議論される予定。

- ・H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会（資料 幹 12-12）
 溝江幹事長より資料に基づき説明があった。3/22 に示方書小委員会の渡辺委員長、斉藤幹事長にこれまでの活動状況を説明し了解を得たうえで、正式に延長の申請をする予定。
- ・H152 プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会（資料 幹 12-13）
 平幹事より資料に基づき説明があった。連絡幹事は暫定で松本高志幹事とした。第1回委員会は4月開催を予定している。アイデアや課題抽出を主とした小委員会であり、期間は1年間。候補として挙げられた委員について、溝江幹事長よりメール審議を依頼する。
- ・H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会（資料 幹 12-14）
 溝江幹事長より資料に基づき説明があった。報告書を取りまとめた後の講習会について、当初、H217委員会との共催を検討していたが、同委員会の終了が延びる可能性が出てきたため、現在、鋼構造委員会・鋼道路橋RC床版を更新する施工技術に関する小委員会との共催を検討している。聴講者の金銭面の負担を減らすため、報告書の代金と講習会費を切り離す（報告書は別売り）などの柔軟な対応を検討してはどうかとの意見があった。
- ・H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会（資料 幹 12-15）
 下村副委員長より2/25にセメント新聞に掲載された講習会（1/22に土木学会講堂で実施）に関する記事の紹介があった。現在、第2期を準備中。
- ・H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会（資料 幹 12-17）
 平幹事より資料に基づき説明があった。現在、報告書の執筆を進めているところであるが、鬼頭委員長の体調不良により活動が中断していた期間があったことから、活動期限の2019年5月までに報告書を完成させることは難しい。これに対し、活動期間を猶予すること、猶予期間中の活動に支障がある委員に期間を1年間延長した委嘱状を発行してよいことが了承された。
- ・H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会（資料 幹 12-18）
 橋本幹事より資料に基づき説明があった。活動期間を延長したいと考えている。1期目の最終委員会を2019年6月に開催し、中間報告書の執筆を経て、中間報告会を2020年2月頃に開催予定。なお、本小委員会の幹事長である橋本幹事は、2019年3月から2020年1月まで海外に赴任。
- ・H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会（資料 幹 12-19）
 大久保幹事より資料に基づき説明があった。6月頃にNEXCOの現場見学を予定。以降はWGを設置して活動する予定。

10. その他

溝江幹事長より、2019年度の重点研究課題に関し、委員ならびに小委員会からの申請が無かったため、応募しなかったとの報告があった。

以上
 （記録：仁平）